気合の粘投

崩れぬ男 低めに徹底

今季オリックスから移籍した木佐貫にとって、札幌ドームでは登板3試合目でつかんだ初白星。「ここで勝てたことがうれしい」と喜びをかみしめた。

2009年まで在籍した巨人と初対戦。さらに相手の杉内は鹿児島・川内高3年の夏の県大会決勝で投げ合って敗れた鹿児島実高のエース。前夜は「超緊張して眠りが浅かった」という。

仕留め、グラブをたたいて気合をむき出しにした。03年も巨人を率いていた原監督は「大胆に投げられた」と脱帽した。

オリックスから一緒に移籍してきた大引とともにヒーローとなった。「ビッキー（大引）には何か袖の下を握らせようかな」。報道陣を笑わせ、大引の殊勲打をたたえた。（横山清貴）

○増井（2試合連続で八回に登板し、無失点）

「1点差の緊張も良かった。そういう状況の準備もしています」

○杉谷（六回、陽の同点打を犠打でお膳立て）

「結果を出せていないので、しっかりやろうと思った。打つことでもっと貢献したい」

▼巨人、打線つながらず　三回以降は毎回走者を出した巨人だが、奪った得点は四回の1点だけだった。2連敗の原監督は「ちょっとつながらないね。もう一本、というところ」と嘆いた。

五～七回は得点圏に走者を送るも無得点。九回は2死一、二塁と攻めたが、長野が遊ゴロに倒れた。かつてチームメート

力投する巨人先発の杉内

杉内復調 8回2失点

1―1の七回2死走者なし。巨人の杉内は、内角低めのスライダーを大引に左翼席へ運ばれた。失投ではないだけに「しょうがない。うまく打たれた」とさばさばと話した。8回2失点と好投したが、2敗目を喫した。

過去2試合は制球がまとまらなかったが、この日は違った。スライダーの切れが良く、五回までわずか1安打。七回には中田と小谷野からスライダーで2者連続の空振り三振を奪った。「真っすぐもある程度切れがあったと思う。真っすぐが走らないと変化球も生きてこない」と敗れはしたが、復調への手応えを口にした。

鹿児島での高校時代のライバル木佐貫に投げ負けたが「お互い、だいぶ年を取ったなと。次に投げ合うことがあれば勝てるようにしたい」と前向きな言葉で締めた。

高校時代のライバル対決

全12球団戦（札幌2人目。

8回1失点 菊池5勝目

西武 5―1 阪神

西武は菊池が8回5安打1失点で5勝目を挙げた。九回途中から益田に救援を仰いだが、外角への制球が抜群で12三振を奪う力投だった。打線は四回に

戸村初勝利

楽天 3―1 ヤクルト

の失策から大量失点。スタンリッジは攻守に援護なく、4回5失点で4敗目。

線はジョーンズが一回に同点犠飛、五回には勝ち越しの7号ソロを放った。ヤクルトは投打がかみ合わず、今季ワーストに並ぶ借金8となった。

コイ3連敗

ロッテ 3―2 広島

ロッテの西野が九回途中まで2失点で5勝目を挙げた。九回途中から益田に救援を仰いだが、外角への制球が抜群で12三振を奪う力投だった。打線は一回

合連続の2桁安打2桁得点となる14安打10点で快勝した。一回にラヘアの10号2ランで先制し、二回には打者一巡の猛攻で6点。パディーヤが6回4失点で来日初勝利を挙げた。中日は、カブレラが3回を10安打10失点と誤算。

日本生命セ・パ交流戦　20日

		試	勝	敗	分	率	差
パ・リーグ成績	ロッテ	42	25	17	0	.595	—
	西武	43	24	19	0	.558	1.5
	楽天	41	22	19	0	.537	2.5
	ソフトバンク	43	21	22	0	.488	4.5
	オリックス	41	19	22	0	.463	5.5
	日本ハム	42	17	25	0	.405	8.0

		試	勝	敗	分	率	差
セ・リーグ成績	巨人	44	27	15	2	.643	—
	阪神	44	25	18	1	.581	2.5
	DeNA	44	20	24	0	.455	8.0
	中日	45	20	25	0	.444	8.5
	広島	43	18	24	1	.429	9.0
	ヤクルト	44	18	26	0	.409	10.0

◇札幌ドーム②　27,231人　日本ハム2勝

巨人	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
日本ハム	0	0	0	0	0	1	1	0	X	2

勝　木佐貫8試合4勝2敗
S　武田久10試合1勝6S
敗　杉内8試合3勝2敗
本　大引1号①＝杉内

◇西武ドーム②　21,882人　1勝1敗

阪神	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
西武	0	0	0	5	0	0	0	0	X	5

勝　菊池8試合5勝1敗
敗　スタンリッジ8試合3勝4敗
本　新井良5号①＝菊池

◇Kスタ宮城②　15,199人　楽天2勝

ヤクルト	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
楽天	1	0	0	0	1	0	0	1	X	3

勝　戸村1試合1勝
S　青山17試合2敗9S
敗　村中8試合3勝3敗
本　ジョーンズ7号①＝村中

◇ヤフオクドーム②　34,740人　ソフトバンク2勝

中日	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
ソフトバンク	2	6	2	0	0	0	0	0	X	10

勝　バディーヤ2試合1勝1敗
敗　カブレラ8試合4勝2敗
本　ラヘア10号②＝カブレラ　和田8号④＝バディーヤ

◇QVCマリンフィールド②　11,938人　ロッテ2勝

広島	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
ロッテ	2	0	0	0	0	0	1	X	3	

勝　西野8試合5勝1敗
S　益田22試合1勝2敗14S
敗　前田健7試合4勝2敗

◇京セラドーム大阪②　12,961人　1勝1敗

DeNA	0	0	0	0	0	4	0	0	4	
オリックス	0	0	0	0	0	0	0	1	1	

勝　三浦8試合3勝3敗
S　ソーサ20試合1勝1敗2S
敗　ディクソン8試合4勝2敗

パ・打撃10傑

	率	打	安	本	点
①マギー（楽）	.336	146	49	8	25
②李大浩（オ）	.333	153	51	6	28
③内川（ソ）	.331	169	56	5	26
④中田（日）	.3270	159	52	11	30
⑤栗山（西）	.3266	150	49	3	28
⑥ヘルマン（西）	.326	144	47	0	19
⑦鈴木（ロ）	.3174	126	40	1	12
⑧バルディリス（オ）	.3165	139	44	7	28
⑨長谷川（ソ）	.311	177	55	3	15
⑩陽岱鋼（日）	.3103	174	54	6	21

セ・打撃10傑

	率	打	安	本	点
①ルナ（中）	.414	174	72	5	31
②ブランコ（D）	.358	159	57	20	52
③マートン（神）	.335	173	58	3	23
④中村（D）	.329	146	48	6	22
⑤丸（広）	.315	130	41	2	16
⑤谷繁（中）	.315	130	41	3	19
⑦坂本（巨）	.313	179	56	5	23
⑧ロペス（巨）	.310	171	53	10	23
⑨新井貴（神）	.307	140	43	7	26
⑩西岡（神）	.305	177	54	1	15

プロ野球・Jリーグ速報

▷携帯電話サイト「道新＆道スポ」（月額300円、ソフトバンクは304円）で試合経過や結果を速報します。携帯各社のメニュー画面か、左上のコードでアクセスしてください。

好調チーム 支えるOB

道内大学野球

北海道六大学と札幌六大学の春季リーグで、それぞれ好調の東農大網走と北海学園大でOBコーチがチームを支えている。東農大網走の三垣勝巳ヘッドコーチ（32）は4月、北海学園大の島崎圭介コーチ（41）は昨年7月に就任。ともに社会人野球で活躍した経歴を持ち、「後輩に経験を伝えたい」と熱意を込めて語る。（須貝剛）

三垣コーチはPL学園（大阪）出身。東農大網走では1年から4番を打ち、強打者として注目された。三菱ふそう川崎では2005年、指名打者として都市対抗野球優勝に貢献。10年に三菱自動車岡崎で現役を引退した。

母校へのコーチ就任は、樋越勉監督に誘われたのがきっかけ。三菱自動車に勤務していたが「また野球に携われるのはありがたい。新しい自分の夢にもなる」と3月末で退社した。

チームは開幕8連勝で単独首位を走る。打撃面の指導を任されており、「体勢を崩さず、しっかりとフルスイングすることが大事」と強調。「能力の高い選手が多い。パフォーマンスをしっかり発揮させ、プロや社会人で活躍する選手を育てたい」と生き生きとした表情を見せる。

「プロで活躍する選手を」

東農大網走　三垣勝巳ヘッド

北海道六大学春季リーグで戦況を見つめる三垣ヘッドコーチ

島崎コーチは北海高時代、投手として2度甲子園に出場。北海学園大で最高殊勲選手賞に輝き、その後進んだNTT北海道では都市対抗を2度経験した。現役引退後の02年は、札日大高監督として春の甲子園に出場した。

現在、札幌市の整形外科で管理職を務めながら、北海学園大で主に投手を指導している。「肩づくりはもちろん、試合に向かうモチベーションの高め方に気を付けている」と力を込める。

昨年7月の就任前には全日本選手権を視察した。今季、同大は1部に復帰したばかりながら、5勝2敗の2位（20日現在）と好調だが「神宮に出て勝つにはまだまだこれから。普段の生活から改善させないと」と目線は常に全国を向いている。

「神宮へ」目線は常に全国

北海学園大　島崎圭介コーチ

北海学園大の練習で、投手陣を指導する島崎コーチ

札幌六大学野球

道都大6勝目

■春季リーグ（20日・札幌円山）　第2節

東海大札幌（2勝5敗）
0 0 0 0 0 0 0 0 1
札大（3勝4敗）
0 0 0 0 0 0 0 0 2X　2 1
（東）水野、山根―藤田、五十嵐
（札）宮沢―鈴木史

道都大（6勝1敗）
0 0 0 0 1 1 0 0 1
北大（3勝4敗）
0 0 0 0 1 0 0 0 1　1 3
（道）平田晃、小川―島崎哲
（北）鈴木、鈴森、三木田、角田、川上―中田

北海学園大（5勝2敗）
0 0 0 0 0 1 0 0 1
北翔大（2勝5敗）
2 0 0 0 0 0 1 0 0　2 4
（延長十回）
（海）太田裕―三浦風
（翔）奥山、石川、岩田龍一―玉木

第2日は3試合を行った。道都大は平田晃（白老東）、小川（札創成）の継投で、北大を失策絡みの1失点に抑え、6勝目を挙げた。星一つの差で追う北海学園大は延長十回、3安打と犠飛で2点を勝ち越し、太田裕（北海）の2失点完投で逃げ切った。

大リーグ

3試合連続 青木マルチ

【セントルイス時事】19日に各地で行われ、ブルワーズの青木はカージナルス戦に1番右翼で出場し、4打安打だった。3試合連続の複数安打。チは2―4で敗れた。

カブスの藤川は

▽ア・リーグ
インディアンス 6―0 マリナーズ
レイズ 3―1 オリオールズ
レッドソックス 5―2 ツインズ
エンゼルス 6―2 ロイヤルズ
アスレチックス 4―3 ホワイトソックス
レンジャーズ 11―8 タイガース

▽ナ・リーグ
マーリンズ 2―1 ダイヤモンドバックス
フィリーズ 3―2 レッドソックス
ブレーブス 5―2 ドジャース
カージナルス 4―2 ブルージェイズ
メッツ 4―3 カブス
ロッキーズ 5―0 ジャイアンツ
パドレス 13―4 ナショナルズ

▽交流戦
バイレッツ 1―0 アスレチックス

ソチへ 得意の飛躍磨く

離スプ望しいの備でジ士ポ合継科連覇